

# 保健消防委員会 所管事務調査事項 提案一覧表

No.	テーマ	調査理由等
1	メンタルヘルス危機への自治体対応について	<p>近年、全国的に自殺者数は増加傾向にあり、特に若年層で深刻化している。コロナ禍以降、人とのつながりの希薄化や生活環境の変化により、メンタル不調や孤立、依存症などの課題も複合化している。</p> <p>本市においても、相談件数が高まっており、若者、働き世代、高齢者それぞれに応じた支援が求められている。そこで、本市のメンタルヘルス対策の現状と課題を把握するとともに、相談体制の充実、関係機関との連携、孤独・孤立対策など、誰もが安心して相談し支援につながる仕組みについて多角的に調査を行いたい。</p>
2	消防局と保健福祉局の相互連携による、在宅孤立高齢者およびセルフネグレクト世帯の早期発見・支援繋ぎ込み体制の構築に関する調査	<p>本市においても超高齢社会の進展に伴い、1人暮らし高齢者世帯の増加や、いわゆる「ゴミ屋敷」に代表されるセルフネグレクト(自己放任)、社会的孤立が深刻な課題となっている。これらは孤独死のリスクを高めるだけでなく、地域における火災発生や救急要請の頻発など、防災・消防上の重大な脅威にも直結している。福祉部局による通常のアウトリーチでは、本人による拒絶や情報の遮断により実態把握が困難なケースが少なくないと思われる。一方で、消防局の救急隊や火災予防査察員は、日常業務を通じて「市民の自宅内部」に入り、生活困窮や認知症、セルフネグレクトの兆候(室内の惨状、不適切な医療・介護管理等)に直接接触する機会を多く持っている。しかし現状、消防現場で得られたこれらの「生活困窮のサイン」を、各区健康福祉課やあんしんケアセンターへ組織的かつ円滑に共有するマニュアルや、部局間の情報連携協定を確立できないか。</p> <p>消防の「現場認知力」と福祉の「専門的支援力」を融合させ、市民の命を未然に救う網羅的なセーフティネットを構築することが目的。</p>
3	救急搬送の適正化	<p>千葉県でも救急搬送件数は増加傾向にあり、軽症搬送の割合も課題であることから、トリアージや有料化の観点について、近年、議会でも議論がなされてきた。</p> <p>従前より、出発時間や病院への到着時間が政令市の中でも下位クラスであり、時間短縮が課題とされてきており、これらについても併せて検討する必要がある。</p> <p>なお、本課題については病院局との連携も求められるところである。</p> <p>また、「看取り期の救急要請」や「救急隊の負担増」が全国的に問題となっており、今後想定される課題として検討すべきである。</p> <p>昨年、本委員会で視察事項に盛り込まれていたと伝え聞いているが、地域包括ケアとの関連で視察されたものであれば、重複する事項とは言えず、調査冒頭に情報共有することで、より有益な議論に資するものと思料される。</p>
4	市立病院と本市の救急医療体制等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院の経営(病診連携・集患対策)</li> <li>・2市立病院の医療体制</li> <li>・救急搬送と適正利用促進</li> <li>・夜急診及び休日診療</li> <li>・本市全体の医療体制 等</li> </ul>

5	通報より病院への到着時間の短縮及び救急医療体制について	
6	病院局	新病院開院の年でもあるので病院運営・経営について探る健全な病院経営の課題
7	動物愛護・動物福祉施策について	本市においては、この間の動物愛護施策の取り組みにより、犬・猫の殺処分ゼロを達成・継続し、施策の推進に努めていますが、地域における不幸な境遇の野良猫はまだ多くおり、その存在に胸を痛める市民は少なくありません。また、昨今では、高齢者とペットの課題、多頭飼育崩壊事案など、新たな課題も発生しています。 そのような課題に対応すべく、現在、市動物保護指導センターに変わる新たな施設の再整備が進められているところです。センター再整備に向けて、市内における人と動物を取り巻く課題を整理し、動物愛護・動物福祉施策の研究・充実を目指していきたいと思います。
8	後見人制度について	高齢化が進む中で、判断力が低下し、詐欺に遭ったり、金銭の支払い能力が低下し、様々なトラブルに巻き込まれるケースが散見されます。市民後見制度も含めて市民が利用しやすい制度についてを学んでいきたいため。
9	医療圏における市立病院が担う役割と収益拡大策の考察	新病院開院を控え、民間医療機関と共に医療圏における役割をこれまで以上に他公立病院と共に担う期待が高まる中、特に救急体制に関しては、まだ圏内での連携が十分機能しているには至らないように思われる。 救急を積極的に受け入れるほど赤字となりやすい現実があり、診療科の医師偏在の課題も多く、政令市には残り政策的医療に関しては多くの自治体が一般会計からの繰り入れで凌ぐが根本的解決とはならず、収益向上、救急体制の圏内連携拡大、病院ごとの得意分野における安定した医療提供体制の維持のため、（公立病院を独立医療法人化させるなどする自治体もあるが）他の政令市ではどのように課題に臨んでいるのか、本市の参考となりうる事例を改めて模索し、考察したく思う。
10	幕張海浜病院の新築に伴い、千葉市における公立病院のあり方及び役割について	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市には2つの公立病院が存在しているが両病院の役割と新病院のあり方について</li> <li>千葉市における休日診療と夜救診のあり方について</li> </ul>